

令和7年度
千歳市労政審議会議事録

令和7年度千歳市労政審議会

1 開催日時

令和7年8月28日(木) 10時00分

2 会場

千歳市役所 本庁舎2階 庁議室

3 出席者

(1) 労政審議会委員

今村 静男委員(会長)、北村 富佐子委員(副会長)、新井 良明委員、川原田 聡委員、小松 八重子委員、山崎 日出子委員、

(2) 事務局

松崎産業振興部長、松原産業振興部次長、辻商業労働課長、日裏労政係長、佐藤労政係主事、本田雇用対策推進員

4 議事

(1) 「千歳市における労働行政について(令和6、7年度)」

- ①地元就職・人材確保支援事業の実施状況について
- ②しごと情報発信サイト「ちとせの仕事」の運営状況について
- ③その他事業の実施状況について
- ④季節労働者通年雇用促進支援事業の取組状況について

(2) 「地元就職と人材確保の促進について」

5 内容

(1) 「千歳市における労働行政について(令和6、7年度)」

松原産業振興部次長の進行により、事務局の紹介を行った後、今村会長に進行を交代し、審議を行った。

続いて、事務局辻商業労働課長から議事(千歳市における労働行政について)に沿って、令和6年度における実施事業の実績及び令和7年度の事業内容を説明し、質疑応答を行なったが、質問・意見等はなかったことから、議案の内容については報告済みと決定した。

(2) 「地元就職と人材確保の促進について」

地元就職や人手不足の解消に対する支援について、はじめに千歳公共職業安定所所長 川原田委員より近年の雇用情勢について説明いただき、それぞれの委員の立場から市内の実情やニーズに関するご意見やご所見について発言していただいた。内容については次のとおり。

【A 委員】

現在、市内には多くのマンションやアパートの建設が進んでいることと思うが、家賃の上昇率はどの程度か。採用活動の中で、賃貸物件の家賃が高いという話題になることが多い。給料の上げ幅よりも、家賃の上昇が大きい印象がある。

【B 委員】

家賃の具体的な上昇率ではないが、新たに建設される賃貸物件の家賃は、賃上げによる人件費の増加や資材の価格高騰により上げざるを得ない状況である。ただ、入居者の方々にとっては厳しい状況であるということも理解はしている。

賃金について触れると、道外から進出してくる企業は、賃金の単価（時給など）も北海道より高い水準である。賃金水準の格差が地元企業の人材確保にとって課題であるのではないかと考えている。

【C 委員】

産業別の雇用状況についてお聞きしたい。

【D 委員】

産業別の状況について、建設業は圧倒的に求人が多く人手不足感が強くなっている。技術者や若い人材を求めているが、なかなか求職者とのマッチングが進んでいない。製造業について、昨年度は食料品製造の求人が非常に多かった。原因としてはインバウンドなどによる消費が好調であることが考えられる。昼間だけではなく夜間にも工場を稼働させている企業も多く、人手が足りないという声も聞こえている。運輸業については、空港関連の採用が特徴的である。特にグランドハンドリングの人材不足は新聞記事などでもよく取り上げられているが、昨年度は新規高卒者の採用が非常に好調であった。今年度も求人数が多いため、企業側の高卒者を雇用する環境が整ってきたのだなと感じている。今後の採用活動にも期待しているところである。宿泊・飲食サービス業についてだが、昨年度は求人が少なかった。その要因として考えられるのはスポットワークの活用である。その反動もあってか、今年度の求人は増加してきている印象である。医療・福祉については、引き続き人手不足が続いている。昨年度は医療現場の働き方改革が進んだことで、求人数が増加したが、今年度は処遇改善などにより人材がある程度定着し、人手不足感は弱まったのではと捉えている。

産業別にはこのような状況であるが、人手不足は、業界問わず課題となっている。

特に千歳市は新たな企業の進出が多いことから、地場の企業の雇用が懸念事項になってくるか

と思うが、ハローワーク千歳としては求職者・求人者双方が千歳市にハローワークがあってよかったなと感じてもらえるような活動をしていきたいと考えている。

【C 委員】

商店街についてだが、近年は商店街の中に多くのマンションが建設されている。以前は商店街に新しい建物が建設されると、その1階部分にはテナントが入るなど、個人商店にも商いの場が与えられていた。新たなテナントが入ると、そこには新たな雇用が生まれていたが、テナント用物件があったとしても、現在は家賃の上昇により個人の商店には入居が厳しい状況である。このままマンションの建設ばかりが進むと商店街らしさが薄れてしまうのではないかと感じている。道外企業の進出が商店街にどのような影響を与えるのか今後も注視していく必要がある。

【A 委員】

かつては駐車場として活用していた商店街の空き地も、ある程度の広さがあればマンション等の建設がすすんでおり、駐車場対策も商店街の課題であると感じている。

【E 委員】

労働者を守るという観点からは、最低賃金が上昇してきており、とても良いことだなと感じている。

雇用需要等調査の働き方改革に関する設問（資料4、p.6）で、賃上げや休暇の取得促進を行った企業が多くある一方で、特になしと回答した企業が一定数存在することから、千歳地区連合としては今後も労働者のために尽力していかねばならないなと考えている。

【A 委員】

官公庁と民間企業の大きな違いとして挙げられるのは、休日数ではないか。特にサービス業は不定休であったり、土日祝日は関係なく、月8日の休日のみが与えられ、その他は有給休暇を使用するというケースも多い。採用活動を行っているところ、現在の新卒者は給与よりも年間休日数などの「プライベートな時間を充実させられるかどうか」を重視しており、そのような企業に魅力を感じているようだ。

11時00分 閉会

—以上—